

東神戸病院 ニュース

2025年
5・6月号
VOL.204

編集・発行：東神戸病院広報宣伝委員会

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号 TEL 078-841-5731 FAX 078-822-6877

<https://k-kyowakai.or.jp/eastkobehp/> E-mail : Higashi_kobe-hp@k-kyowakai.or.jp

2025年度入社式を行いました

今年度、法人全体で新入職員を迎え、入社式が4月1日（火）に行われ、その後4日間の研修が実施されました。藤末理事長からの新入職員への激励の言葉があり、研修内容には個人情報保護、医療・看護、安全対策、感染対策などの重要なテーマが含まれました。さらに、社会人として必要な知識や技術に関する講義が行われ、東神戸医療互助組合員さんとの交流や、各事業所の見学も行いました。

新入職員が一日でも早く業務に慣れ、職場環境に適応できるよう、組織全体で指導・教育・サポートに注力しています。この記事が届いたころには、新入職員が各職場に配属され、皆さんと顔を合わせることもあるかと思えます。新入職員への温かいサポートと見守りをお願い申し上げます。



着任医師紹介

浅田 友啓 医師

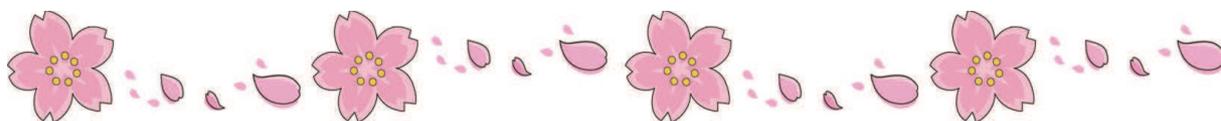


はじめまして。家庭医専門研修の専攻医として4月付けで着任しました、浅田友啓と申します。

家庭医と聞いても、ピンとこない方も多いのではないのでしょうか？家庭医というのは、専門によらず、幅広い健康問題に対処できたり、病気のことでお困りのときに相談に乗れる医師です。「気になる症状があるけど、どの科にかかっていいかわからない」「病気や介護のことで困っている」など、地域の皆さんの様々な訴えに幅広く対応します。

家庭医療について勉強し、専門資格を取得するために、東神戸病院で働かせていただくことになりました。東神戸病院は、外来・入院・訪問診療など様々な場で日々地域の皆さんの診療を行っており、病気の治療だけでなく患者さんの生活のことも考えて活動しています。そのような病院でしかできない経験を通じて、一層精進していきたいと考えています。

「とりあえずこの先生、この病院に相談してみよう」と思ってもらえるような医師になれるように頑張りますので、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



湯徳 祐樹 医師



初めまして。今年度より東神戸病院で内科として勤務することになりました、湯徳祐樹と申します。総合内科の専門研修カリキュラムに入ることになります。以前は消化器外科医として大阪で専攻医をしておりましたが、ラテックスアレルギー等の理由で今回転科することとなりました。出身は兵庫県川西市です。大学は山梨大学に進学後に、出身地の近くで勤務したいと思い、関西に戻ってきました。生物が好きで、大学では馬術部に入っており、最近では家で金魚を飼い始めました。

元々地域医療にも興味があり、患者さん目線に立つことを忘れずに包括的な治療が行えるよう、精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

在宅ケアシンポジウム

訪問看護ステーションあじさい 30 周年企画

3月15日に講演「地域包括ケアにおける訪問看護の発展と今後の展望」と在宅ケアシンポジウム「高齢患者の救急医療と在宅復帰」を開催し、参加者は72名でした。

講演では神戸市看護大学在宅看護学分野・片倉直子教授より、訪問看護ステーション大型化は在宅での看取りを促進するというお話があり、あじさい大型化の取り組みの有効性を、改めて確認することができました。

在宅ケアシンポジウムでは、甲南医療センター救急科集中治療部長・竹田洋樹医師



より、高齢者救急の場面での課題が話されました。患者さんの70%は病気の悪化等で終末期に意思決定することが困難なのですが、患者さんご家族の間で、どこまで医療行為をするのかについての事前の話し合い(ACP)は行われていることが少なく、結果的に延命治療を選択していることもあるとのことでした。また、田中医院の院長・由井倫太郎医師は、在宅医療の現場にはもともと病気の重症化リスクの高い患者さんが多いため、普段から患者さんやご家族とACPについて話し合い、病気の悪化の早期発見・治療ができるようにすることが重要だと話がありました。あじさいからは、患者さんが救急入院とならないよう自宅で早期に治療を開始するために、24時間対応ができる看護師の育成が重要であることを話しました。神戸老人ホームの統括所長・伊賀浩樹氏からは、医療者が夜間常駐していない高齢者施設における急病への対応の課題と、高齢者施設から救急医療の現場への要望が語られました。神戸市東灘区救急隊からは、突然自宅死しているところを発見された高齢者の数が増加していることが話されました。討論会では、地域医療・ケアの現場で普段から患者さんにACPを確認し、救急医療の現場に患者さんの意向が伝わるようなシステムを地域内で構築していくことが、患者さん本人の望む暮らし方を実現するのに重要であるということが話し合われました。

内科外来の受付番号表示モニターの導入について

2025年2月より内科外来診察待ちの「受付番号」表示を開始しました。

受付時に患者様にお渡ししている「受付票」に番号を印刷し、その番号をモニターに表示することで、ご自身の診察の順番が把握できる目安となります。

この番号表示は、当院で定期的実施している「外来満足度調査アンケート」で患者様からご意見を頂いた結果を受けて導入の検討に入りました。ご記入頂いた480件のアンケート結果の「待ち時間」に関する項目で、約35%の方が「診察状況を知る



方法があると助かる」と回答されていました。「診察待ち時間対策」の一つとして、診察の順番の目安が見えるようになりました。

外来とシステム担当者でレビューを何度も繰り返し、約半年で実現することが出来ました。この取り組みも含めて、患者様がより快適に診療を受けられる環境作りを今後も目指していきます。

受付票	
受付番号：0167	
患者番号	99996002
氏名	マテアイ タロウ様 待合 太郎様
生年月日	平成8年5月1日(28歳)男
受付日時	3月31日 16:36
内科	
診療内容	診療予約
17:00	
システム管理者	
受付票を各診療受付にお出しください。	

外来診療体制表 (2025年5月現在)

	受付開始時間	診療時間
午前	8:30～	8:45～12:00
夜間	16:30～	17:00～19:00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	*遠山 *藤末 *浅田 鱸 新患外来	*藤末 *瀧本(和) *遠山/馬田(隔週) 松本(郁) 新患外来	*高島 *瀧本和 *馬田 湯徳 新患外来	*瀧本(和) *大槻 *藤末 馬田 新患外来	*武村【2・4】 *永野 *山田 佐伯 谷口【1・3・5】 新患外来	*遠山【4】 *馬田(一般)【1】 松本(成) 新患外来
	午後	*大槻(糖尿病) *吉川(緩和ケア)	*馬田(糖尿病)	*遠山(循環器)	*遠山(循環器) *高島(リハ) *瀧本(和)(被ばく)		
	夜間	高島 藤末 水間				*遠山(一般) 瀧本和 *大槻(一般)	
外科	午前	菅本		菅本		菅本	菅本【1・3】
	午後						
	夜間						
消化器外科 肛門科	午前		高村		高村		高村【2・4】
	午後						
	夜間						
整形外科	午前	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	
	夜間					合田	
小児科	午前		*森岡			*森岡	*森岡【月2回】
	午後	*森岡(喘息特診)	*森岡			*森岡	
	夜間	*森岡(喘息特診)					
神経心療 内科	午前	*千古	*山中	*千古	*千古	*千古	
	午後			*千古 (ものわすれ外来)	*千古		
	夜間					*千古	

- ・【 】内の数字は第〇週目を表しています。
- ・名前の前に*印がついているのは予約診療です。但し(一般)(一般あり)と書かれている場合は一般診療も行っています。
- ・急病の場合はこの時間の限りではありません。お電話にてご相談ください。

感染症拡大防止のため、病院へ入館する際の体温チェック・マスク着用をお願いします。
また、入院患者さまへの面会制限も実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

特定医療法人 神戸健康共和会
東神戸病院
 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号
 電話：078-841-5731
 FAX：078-822-6877
 健診予約：078-841-5673
 ホームページ：<https://k-kyowakai.or.jp/eastkobehp/>



あなたの声をお聞かせください！

地域の皆様にとって利用しやすい病院を目指していきます。
 病院・職員に対する意見・感想をお聞かせください。
 (右の二次元コードを読み取ってください)

